

つながりと創造で 新しい長崎へ

長崎市長 鈴木史朗



新年あけましておめでとう
ございます。
晴れやかに新年をお迎えの
です。

こと心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は、被爆地・長崎が訴え続ける「核兵器のない世界」の実現に向け、世界が大きく舵を切る契機となることを期待させる出来事がありました。

「日本原水爆被害者団体協議会」のノーベル平和賞受賞です。

日本原水爆被害者団体協議会は、昭和31年に長崎で開催された第2回原水爆禁止世界大会において結成されてから、被爆者の唯一の全国組織として、長年にわたり被爆体験の継承と核兵器廃絶に向け

点が生じました。ジャパネットグループが進めるプロジェクトにより誕生した長崎スタジアムシティです。長崎スタジアムシティは、プロサッカーチーム「V・ファレン長崎」のホームスタジアム、プロバスケットボールチーム「長崎ヴェルカ」のホームアリーナ、さらに日本初のサッカースタジアムビュートホテル、商業施設、オフィ

スビルの5つの建物で構成される大型複合施設であり、スポーツを通じた全く新しい魅力が長崎にプラスされ、本市としても民間主導による地方創成の取組みの効果が最大化するため、長崎が魅力あふれる誇れるまちとなり、また、多くの方々による魅力を届け交流による地域活性化が図れるよう取り組んでまいりたいと思っております。

取り組んでまいりました。会員の皆様の訴える壮絶な被爆体験に基づいた核兵器の非人道性は、国際世論に大きな影響を与え、「核兵器禁止条約」誕生の源ともなりました。

関係者の皆様の献身的かつ継続的な活動に心よりの敬意を表します。

また、昨年10月には、スポーツの力による新たな交流拠点の取組みの効果が

選ばれるまちSASEBOを創るシティ ブランディング・プロジェクトを推進

佐世保市長 宮島大典



明けましておめでとうござ
います。旧年中は市政の運営
に格別のご理解ご協力をいた
だき、厚く御礼を申し上げます。

す。

昨年は、能登半島地震をはじめとする自然災害や物価の高騰など厳しい環境が続く中、コロナ禍の影響からようやく抜け出し、社会経済活動が活気を取り戻した年であったように思います。

本市につきましては、昨年4月から第7次佐世保市総合計画（後期基本計画）をスタートさせるとともに、「子育て

「産業」「地域資源」「文化」を柱とする「選ばれるまちSASEBOを創るシティブランディング・プロジェクト」に取組んでいます。

プロジェクトを下支えする社会基盤の一つである西九州自動車道では、佐世保道路佐々IC（佐世保大塔IC間）において、令和9年度の4車線化全線供用開始を目指して鋭意工事が進められており、今年、その一部の供用がなされる見込みです。また、松浦佐々道路においても、昨年12月に江迎3号トンネルの貫通式が執り行われるなど、全線開通に向け大きな一歩を踏み出しています。

このような高規格道路網の整備により、人と物の流れを活発にし、経済の活性化をはじめ新たな企業立地や雇用の創出など、本市はもとより県北地域全体のさらなる活性化に繋がることを期待しております。

今年や、サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」のクリテリウム（エキシビジョンレース）などの大きなイベントも予定しており、市内外の皆様の賑わいの創出を期待しています。

また、三浦地区のみならず、ちづくりエリアでは、リゾート色を備えたハイクラスホテル誘致のための公募を開始する予定であり、ハウステンボスからの周辺にも繋がるような観光拠点となるよう整備を進めてまいります。

さらに、本年は「ながさきピース文化祭2025」をはじめ、西海国立公園指定70周

話を大切にしながら、新しい時代にふさわしいまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって輝かしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

新年のごあいさつといたしま

す。



一般社団法人 長崎県解体工事業協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町5-19-1A
TEL.095-895-5935 FAX.095-895-5936
http://www.kaitai-nagasaki.or.jp/

- 長崎市・西海市・西彼杵郡地区
- (株) アクト 代表取締役 谷口 秀夫 095-895-8494
 - (株) 一番建設 代表取締役 足立 照子 0959-32-1851
 - 井手工業 代表 井手 隆雄 095-881-7288
 - サンコー(株) 代表取締役 金光 輝仁 095-845-3704
 - (株) 信和 代表取締役 桑岡 隆太 095-824-0822
 - (株) 杉田産業 代表取締役 杉田 裕之 095-849-1501
 - (株) 西菱環境開発 代表取締役 西村 邦俊 095-814-2229
 - (株) 竹市建設 代表取締役 竹市 広樹 095-822-6729
- 島原市・諫早市・大村市地区
- (株) 木下工業 代表取締役 木下 貴将 0957-56-9656
 - (株) グリーンテック九州 代表取締役 永石 辰巳 0957-47-9920
 - (株) 慎 代表取締役 廣谷 慎也 0957-42-4412
 - (株) 鈴木建設 代表取締役 鈴木 義行 0957-53-8022
 - 中原土木(株) 代表取締役 中原 清隆 0957-48-0617
 - (株) 新栄建設 代表取締役 杉永 有祐 0957-64-3701

- 濱田建設工業(株) 代表取締役 濱田 賢吾 0957-49-1337
- (株) モリセ 代表取締役 森瀬 幸孝 0957-78-3266
- (株) 吉次工業 代表取締役 吉次 泰祐 0957-21-3353
- 佐世保市・東彼杵郡地区
- (有) 井手組 代表取締役 井手 徳弘 0956-58-5075
 - (有) エフディ理工 代表取締役 古川 正美 0956-32-4084
 - (株) エムアイ興産 代表取締役 池田 正喜 0956-26-2010
 - (株) おうず工業 代表取締役 山崎 愛 0956-42-8611
 - (株) ケイアイ工業 代表取締役 岩田 健二 0956-34-5277
 - (株) 佐世保総合開発 代表取締役 藤井 隼人 0956-48-4545
 - (株) 西部工建 代表取締役 瀧崎 隆 0956-31-1812
 - (有) 創研 代表取締役 坂井 進吾 0956-30-6507
 - (株) 大成産業 代表取締役 森 祐一郎 0956-33-7218
 - (株) 立石興産 代表取締役 立石ツヤ子 0956-78-2380
 - (株) タムラクレーン 代表取締役 田村 真一 0957-46-1722

- (株) ヒデシマ 代表取締役 秀島 美華 0956-33-4219
- (株) 平成建設 代表取締役 山口 武臣 0956-47-2111
- (株) 森組 代表取締役 森 浩徳 0956-23-1460
- (有) 山口工業 代表取締役 山口 智弘 0956-69-2546
- 平戸市・松浦市・五島市・壱岐市
対馬市・南松浦郡地区
- (株) 壺松組 代表取締役 末永 勝也 0920-45-1094
 - (有) 今里産業 代表取締役 今里 龍一 0956-72-1757
 - (株) 今村組 代表取締役 今村 音博 0959-72-3348
 - (有) 共栄組 代表取締役 辻村 光男 0950-57-1773
 - (株) 榮建設 代表取締役 木村 一彦 0920-56-1141
 - (株) セイホウ開発 代表取締役 野口 昌師 0959-74-1768
 - (株) 早田組 代表取締役 早田 豊 0920-54-2063
 - (有) 橘建設 代表取締役 橘 敏弘 0920-53-2200
 - (株) 中原建設 代表取締役 中原 康博 0920-83-0611
 - (有) ヒロカワ 代表取締役 洪川 明鈴 0959-42-3257

- 賛助会員
- 協業組合 諫早輸送センター 代表者 廣瀬 公彦 0957-23-3377
- 鹿島機械工業(株) 代表者 栗山 明文 0957-55-8418
- (株) 川口金属 大村工場 代表者 川口 充 095-839-1024
- キャタピラー九州(株) 代表者 湯浅 淳一 0957-25-2500
- (株) キヨカ 長崎支店 代表者 田村 修 0957-26-2706
- グローバル建機(株) 代表者 関 惠喜 0957-49-8300
- コベルコ建機日本(株) 代表者 清田 友和 0942-85-9081
- コマツカスタマーサポート(株) 代表者 下村 浩一 050-3486-7235
- (株) 西部川崎 九州支店 代表者 榎田 大雅 0957-49-8300
- (株) 滝口商店 代表者 滝口 國重 095-845-4423
- (株) 中央環境 代表者 上田 基久 095-884-3229
- (有) 永田商店 代表者 永田 秀昭 095-883-4764
- (株) 長崎スクラップセンター 代表者 三田 滋拾 0957-49-8300
- (株) 南陽 福岡支店 代表者 瀧野 健一郎 0957-43-4811
- (株) ニシケン 代表者 田中 誠一 0942-35-5840
- (株) 日本トリム 代表者 小柳 洋佑 095-811-3100
- 日本ビルティ(株) 長崎営業所 代表者 マルコ・アマン 0120-66-1159
- (株) 森谷商会 代表者 松永 秀人 0956-31-5181
- (株) 山口商店 代表者 山口 義文 0956-31-3268

市民と街が主人公の島原

島原市長 古川隆三郎



ただ島原市長として引き続き4期目の市政運営を担わせていただくことになりました。

無投票当選での信任ということ、より責任の重大さを感じておりますが、決意を新たにし活力ある市政を推進してまいります。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年の市長選挙において、市民皆様のご信任をい

ルすることができたと思っております。これまでの取組が今後50年先、100年先の島原市の発展につながるよう、市民の皆様と力を合わせ市政運営に全力で取り組んでまいります。

これまで様々な事にチャレンジしてまいりましたが、今後取組むべき一番の課題は企業誘致の実現だと考えております。若い人が島原に留まる、一旦都会へ出たけど帰ってきたい、そんな思いに配慮するため、工業用水に適した豊富な湧水や諫早、島原、熊本を最短90分つなぐシリコンシーラインの活用など、島原特有の有利な要素をアピールしながらあらゆる方向から誘致に取り組んでまいります。

高規格道路「島原道路」につ

いては、出平町から有明町間の延長約3.4キロメートルについて目に見える形で着々と工事が進捗しております。引き続き国や県と連携し早期整備に努めるとともに、完成後の未来を見据えながら島原道路の利便性・価値をさらに高めるため、有明海沿岸道路の整備促進や島原道路のさらなる延伸について、関係機関へ働きかけてまいります。

また、消防団員を含む44名の尊い生命を奪った雲仙・普賢岳噴火災害の影響から、山頂には巨大な溶岩ドームが堆積しており、現在でも崩落や土石流の危険にさらされています。

溶岩ドームの監視と砂防施設の管理について、雲仙砂防管理センターによる国直轄の

事業拡張、九州最大規模の商業施設の開業準備が着々と進むなど、数千人規模の雇用が見込まれており、定住人口拡大に向け大きなチャンスを迎えております。

土地利用の自由度を高め、更なる産業振興や優良な住宅地の供給に資する「諫早市の新しい都市計画」へのチャレンジをはじめ、島原道路、有明海沿岸道路など幹線道路網の整備や本明川ダム、流域治水の整備促進による防災減災への取組など、関係機関と連携しながら、県央地域の中枢都市として、将来にわたって持続可能な活力あるまちづく

りを目指してまいります。

未来の夢を描き夢叶う一年に

諫早市長 大久保潔重



にお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、郷土・諫早の「明るい未来を切り拓く」一年と位置づけ、市政に課せられた重要な施策の一つひとつ取り組んでまいりました。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、新春を健やか

本市は、西九州新幹線の開業を契機として、県内交通の要衝としての地理的優位性が評価され、大手企業の進出や

りを目指してまいります。

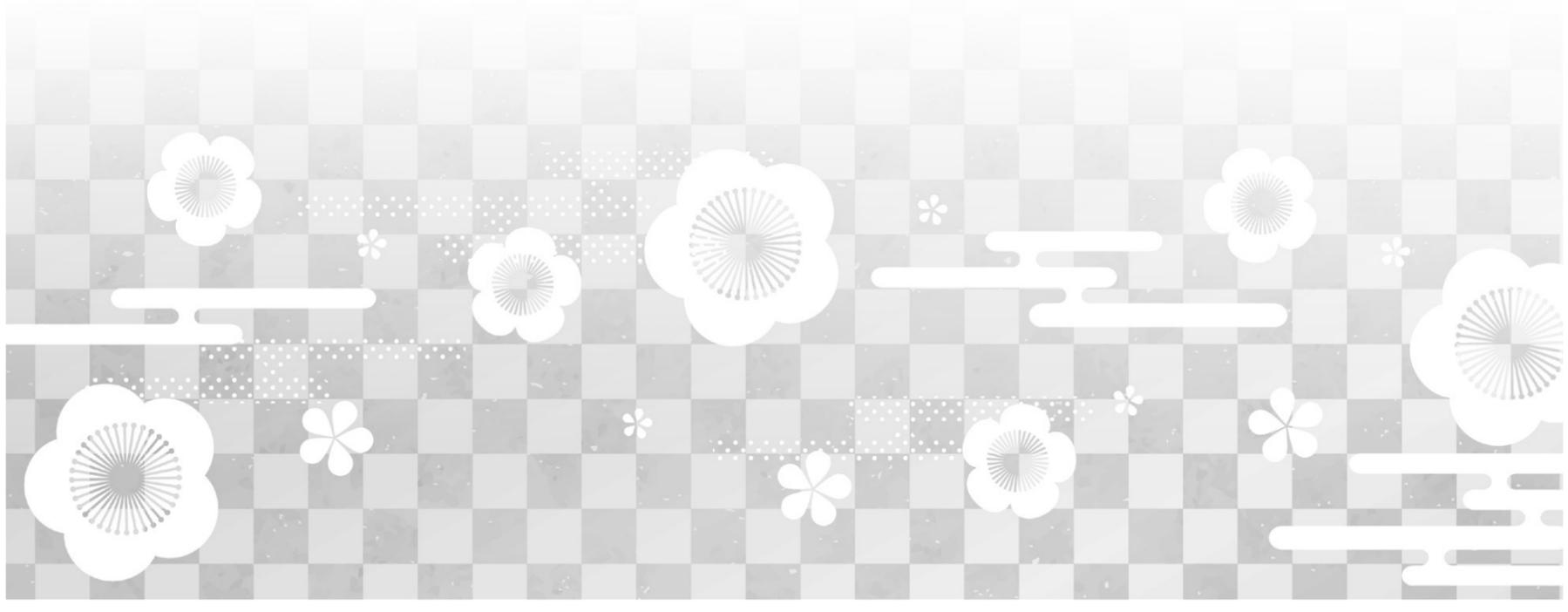
また、小長井地域においては、魅力ある学校づくりを通じて持続的で活力ある地域の創出に資するため、来たる令和7年度から3小学校を統合することとしており、令和10年度を目途に本市初となる義務教育学校の設立を目指して

まいります。

新年が、我がまちに暮らす全ての皆様にとって、未来の夢を描き、その夢が「叶う」一年となるよう、全力で市政運営に取り組んでまいります。

引き続き、郷土の近未来像「来てよし、住んでよし、育ててよし」あなたのまち・諫早!!」の実現のため、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様にとりまして、幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。



『更なる高みを目指して』 人口10万人のまちづくり

大村市長 園田 裕史



明けましておめでとうございます。

まず初めに、昨年発生した能登半島地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。厳しい状況の中で懸命に復旧に取り組まれている皆さまに深い敬意を表すとともに、一日でも早く平穏な日常を取り戻されることを、心より願います。

さて、令和7年の新春を迎え、市民の皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より大村市におけるさまざまな活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。昨年を振り返りますと、独自のポータルアプリ「おむすび」やデジタル地域通貨「ゆでび」の運用開始、新大村駅前前の整備による新たな「おむら暮らし」の提案、野岳湖公園周辺の開発、新庁舎の実施

設計への着手など、ソフト・ハードの両面で整備を進めました。今後も市民の皆さまのお声をお聞きしながら、一人ひとりが「しあわせ」を実感できる取り組みを推進します。

本市は、50年以上にわたる人口増加が続いている県内唯一の自治体として、いよいよ人口10万人都市へ移行し、新たなステージを迎えようとしています。「ONE OMURA」で幸せが広がるまちづくりを実現するために、希薄になりつつある地域コミュニティの活性化に力を入れ、すべての市民が安心して暮らせる環境を整えてまいります。巳年は「再生」や「発展」を意味する年とも言われますので、関係人口の構築などをヘビー（已）ローテーションで行い、人口10万人から更なる高みを目指して発展していくような、より住みやすいまちづくりに取り組みまいります。

結びに、皆様にとりまして本年が輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

西九州自動車道路の早期完成に努め 交流人口拡大で地域経済を活性化

松浦市長 友田 吉泰



明けましておめでとうございます。

合併から20年を迎え、地域の経済活性化に力を注ぐ

平戸市長 黒田 成彦



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和7年の新春をお健やかに

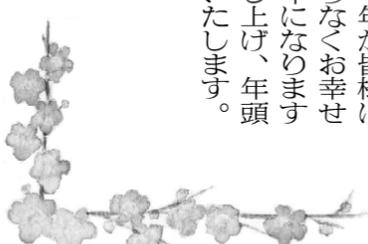
るほか、県営事業が進められている松浦港（御厨地区）の緑地整備が完成予定であり、新たなにぎわいづくりの場として期待しているところです。また、県営事業が進められている高野地区地すべり対策工事の完成を見据えて、不老山総合公園のリニューアルを進めております。市民の皆様への憩いの場として、さらには観光スポットとして、リニューアルオープンできる日を私も大変待ち望んでおります。地場企業の支援及び企業誘致を目的とした松浦市西部工業団地（仮称）の造成について、

は、令和7年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市政に対し格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本年は、建設工事を進めている松浦市消防署鷹島出張所、鷹島学校給食共同調理場の供用開始を予定している

このに加え、令和7年度中には待望の西九州自動車道「平戸インター」の完成により松浦市と直結し、福岡までの移動時間が劇的に短縮され、これまで以上の人流や物流の移動の加速化や利便性の向上が、交流人口や関係人口を増大させる起爆剤となることとが大いに見込まれます。また、観光地づくりの法人「DMO」、民間企業と連携し、主体的に進めてきた「アールベルゴ・ディフーズタウン推進事業」の具体的展開が始まる年でもあります。本市がこれまで進めてきた街並み修景事業や景観条例による統一感の醸成、電線地中化事業や

では、開発行為申請に向けて、詳細な測量・調査・設計業務をはじめ、物件補償調査、用地補償総合調査などを進めており、工事着手に向けて取り組んでまいります。西九州自動車道松浦佐々道路については、国土交通省において継続的に予算措置がなされ、事業の進捗が図られております。令和7年度中に松浦ICー平戸IC間が開通予定であり、引き続き国や県と協力しながら早期完成に向けて事業の進捗に努めるとともに、隣接自治体を持つ魅力的な観光素材をつないだ周遊観光し、地域の経済活性化に向けて力を注いでまいります。

空き家バンク事業などがその土台となって、イタリア発祥の旅行スタイルの「アールベルゴ・ディフーズ」（分散型ホテル）が、今年5月から事業の本格開始となる予定です。さらにかつて西日本で最大の鯨組主であった益富捕鯨が創業300周年の節目を迎えるなど、平戸市が保有する歴史的な価値や伝統的な文化景観、雄大な自然が、その潜在価値をいよいよ大きく増幅させて、多くの人々を魅了することになると確信しています。平戸市の基幹産業である農林水産業と観光業。これらを今まで以上に希望溢れる産業として持続的な土台を構築し、地域の経済活性化に向けて力を注いでまいります。私自身も市長としての任期4期目の節目を迎え、最終コーナーを全力で駆け抜け、皆様の負託にお応えすべく尽力してまいります。皆様におかれましては、市政に対しましての尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、この一年が皆様にとりまして、限りなく幸せで明るい飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



一緒に前へ！ 志岐新時代へ！

志岐市長 篠原 一生



そんな巳年の本年は、多くの人にとって成長や実を結ぶ年となる可能性が高いと言われています。

まさに志岐新時代の第一歩を踏み出す年として、最適な年だと考えています。(ちなみに私は年男です)

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は多くの皆様にお会いし、大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響で中止になっていた多くの行事やイベントも復活し、活気が戻ってきたことを感じる一年でした。

そのような中、志岐市として、まちづくりの最上位計画である「第4次志岐市総合計画」を作りました。

その合い言葉が「一緒に前へ、志岐新時代へ。」です。

本年は巳年ですが、蛇は古くから実りや金運を司る神様としてまつられ、たくましい生命力や脱皮をするたびに傷が治ることから、医療・治療・再生のシンボルともされています。

日本全体で人口減少、少子高齢化が進む中、本市では全国よりもさらに速いスピードで減少が進んでおり、未来に対して暗くなりがちです。

しかし一方では、志岐高校野球部の活躍、大阪関西万博や長崎県初となる国民文化祭の開催など、明るい話題もあります。

すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組み、市民の皆様が幸せを実感できる、そんな未来に向かって着実に前進していきます。

そのためには、皆様一人おひとりの力が必要です。

志岐の新時代に向け、一緒に前へ進みましょう。

新しい年が、皆様にとって、志岐市にとって、すばらしい一年となりますことを、心よりお祈りいたします。

変革する社会に対応した 市政の創造と革新に挑戦

対馬市長 比田勝尚喜



望に満ちた新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政に對しまして、深いご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希

望に満ちた新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政に對しまして、深いご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、国内では、元旦から能登半島地震が発生し、その支援に向かう途中に発生した海保機の地上衝突事故と悲しい事故が続き、さらに、9月

本市は、SDGs 未来都市として、重要課題である「海

洋ごみ問題」の解決のため、減っていた韓国観光客も回復しており、対馬の奥深い歴史や自然環境に注目した観光客も増加している状況であります。引き続き、地域活性化策である交流人口の拡大のため、一次産業とも融合する地域性を活かしたおもてなしの醸成を図り、足腰の強い観光産業の育成支援に邁進する所存でございます。

脱炭素社会実現へ 取り組み加速

五島市長 出口 太



えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政へ格別のご理解・協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年9月に市民の皆様のご支援を賜り、第6代五島市長として、市政を担わせていただくこととなりました。就任後、市内外でたくさんの方々とお話して、ふるさと五島へ

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎

の熱い思いや温かい励ましの言葉に元気をいただいております。引き続き、五島市の発展に全力を尽くしてまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

五島市は、昨年9月に環境省の脱炭素先行地域に選定されました。2030年度までに民生部門の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロにする取り組みを、全国に先駆けて推進する地域として評価を受けたものです。

この選定を受けたことにより、国からの支援や専門的な知見を活かし、本市の脱炭素社会の実現に向けた取り組み

を加速してまいります。特に、本市全世帯の電力契約を再生可能エネルギー由来の電気またはCO2排出実質ゼロの電気に切り替えることを推進し、市民の皆様とともに脱炭素社会への早期実現を目指していきます。

また、本年2月22、23日には本市で、「第35回全国榎サミット五島大会」が開催されます。

自治体の関係者などが五島市にたくさんいらっしやいます。

大会では、記念講演、パネルディスカッション、各種展示や特産品の販売などが行われます。

世界に誇る銘花『玉之浦』生産量日本一の椿油、この五島市を象徴する花木「椿」の全国大会を、市民の皆様とともに盛り上げたいと思っております。

結びに、今年が皆さまにとって希望に満ちた幸多い年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭にあたっての挨拶といたします。

市政施行20周年を迎え、未来へ 向けた新たな一歩を踏み出す

西海市長 杉澤泰彦



新年あけましておめでとう
ございます。皆様におかれま
しては、健やかに新春をお迎
えのことと心よりお慶び申し
上げます。
昨年は、西海市にとって非
常に重要な節目の年となりま
した。

地域経済の活性化を図るべ
く、大島工業団地の売却が完
了しました。これにより、造
船業の集積地としての基盤が
整い、地域の産業が新たなス
テージへと進化してまいりま
す。特に、洋上風力発電や省
エネ船の建造といったカーボ
ンニュートラルに向けた取り
組みが加速しています。さら
に、江島沖洋上風力発電事業
や松島火力発電所の高効率発
電システム「GENESIS
松島計画」など、大規模プロ
ジェクトが着実に進行中で
す。これらのプロジェクトは、
地域資源を最大限に活用し、
新たな産業の創出を促進する
ことが期待されています。
また、市民の皆様の安心に
寄与する念願の24時間365

安心、豊かさ、賑わいのある 未来(まち)を目指して

南島原市長 松本政博



新年明けましておめでとう
ございます。
皆様におかれましては、健
やかで希望に満ちた新年をお
迎えることと心からお慶び申
上げます。

さて、本市は来る4月1日
に市制施行20周年を迎えま
す。この節目にあたり、これ
までの歩みを振り返り、次の
ステージへ進むべきものや見
直すべきものを、エビデンス
に基づいて検証してまいりま
す。人口減少や少子高齢化と
いった課題については、令和
7年度から始まる第3次総合
計画の策定作業を通じて、具
体的な対策を講じ、未来に向
けた新たな一歩を踏み出す所
存です。市民の皆様には、引き
続きご理解とご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。
結びに、新しい年が西海市
の更なる発展の年となり、皆
様にのりましても幸多い年と
なりますよう心よりお祈り申
し上げ、新年のご挨拶とい
たします。

規模な地滑りが発生し、最大
限の対応を行いました。改め
て、災害は予告なく訪れると
いうことを再認識し、避難訓
練、防災講習などの拡充を行
い、令和8年度の供用開始
を予定しています。

その他、不利な地理的条件
の緩和に向け、高規格道路整
備の要望の強化や、「島原天
草長島連絡道路」事業化への
前進を図ります。

今年度の取り組みを継続、
拡充し、地元企業、農業、そ
うめん産業などの地場産業の
振興や、後継者対策、地場産
品等のブランド力の強化、空
家対策を絡めた移住施策、ゼ
ロカーボンシティ宣言に基づ
き、環境負荷低減や循環型社
会、企業誘致などの各施策や、
新年の挨拶いたします。

令和7年度は、市制施行20
周年の節目の年であります。
今後、市民の皆様のお声をお
聞きしながら、本市の将来を
見据え、効率的な自治体運営
に努めながら「安心、豊かさ、
賑わいのある未来(まち)」
を目指してまいりますので、
引き続き皆様方のご支援とご
協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとり
まして幸多き年になりますよ
う、心からお祈り申し上げます、
新年の挨拶いたします。

動きをかたちに

雲仙市長 金澤秀三郎



新年、あけましておめでとう
ございます。
皆様におかれましては、希
望に満ちた輝かしい新春をお
迎えることとお慶び申し上げ
ます。

昨年を振り返りますと、国
際情勢の変化などにより、生
活必需品やエネルギーなどの
価格が高騰し、市民生活に大
きな影響が続く中、1月に発
生した能登半島地震をはじめ
め、全国各地で発生する豪雨
災害など、自然の驚異を改め
て痛感させられた1年であ
りました。
本市としましては、子育て
世代への支援を柱としなが
ら、社会基盤の強化や産業の
振興など、目の前の課題に一
つずつ向き合い、市民の皆様
のご理解やご協力のもと各種
施策を展開してまいりまし
た。
産業と交流の分野では、農
業基盤整備事業の推進に加え
て、環境に配慮した農業の推
進を図るため、雲仙市有機農
業推進協議会を設立し、「オ
ーガニックビレッジ宣言」を
見据えた取り組みを進めてお
ります。
社会基盤と環境の分野につ
きましては、一般国道389
号「多比良バイパス」が開通
したほか、高規格道路「島原
道路」や一般国道57号富津防
災の整備促進に向けた計画的
な予算確保と、愛野・小浜間
の幹線道路整備に向けた関係
機関への要望活動に取り組み
ました。
今後、継続と改革の2つ
の視点を持って、本市の最重
要課題である人口減少の速度
を緩めながら、次世代におい
ても安心して暮らすことがで
きる環境づくりを見据えた各
種施策をさらに加速させてま
いりますので、さらなるご支
援、ご協力を心からお願ひ申
し上げます。
結びに、本年がさらなる飛
躍の年となりますよう念願い
たしますとともに、皆様の益
々のご健勝とご多幸を心から
祈念申し上げます、新年の挨拶
いたします。